

厚労省「病院再編・統合(案)」発表

宗谷では、利尻島国保中央病院・中頓別町国保病院・猿払村国保病院・豊富町国保病院が対象

住みよいまちをめざして



宗谷医師会
会長 櫻井 晴邦

厚労省発表に強制力はなく、地域医療構想会議で決定されるものです。必要なものは必ず残りますのでご安心ください。



稚内市議会
議長 岡本 雄輔

宗谷のみなさんが安心して地域医療の充実に努めます。



市立稚内病院
院長 國枝 保幸

医師不足の中、市民も病院も頑張っています。この地域事情を大事にして頂きたいですね。



稚内市医師会
会長 西岡 健吾

これからも、地域のみなさんと一緒に、より良い医療を目指し頑張ります。



稚内「医療と健康のまちづくり応援団」
団長 山田 繁春

医療と健康のまちづくりを応援する温かい施策がほしいですね。



稚内市町内会連絡協議会
会長 瀧 勝彦

地域にとって病院は命と健康の要です。この思いをしっかりと大切にしたい。

大切にしたい地域の病院



猿払村長 伊藤 浩一

もっと現場の声を聴くべき。管内の自治体は厳しい財政事情の中、創意工夫、努力しながら病院を運営しています。再編・統合の前に、今後、国として地域医療をどう守っていくのか、地域の皆さんがどうしたら安心してその地域に住み続けることができるのかもっと現場の声を聴くべきです。



稚内市長 工藤 広

医師の確保は喫緊の課題。稚内市では、市民ぐるみで地域医療問題に取り組んでいます。宗谷管内の医師数は他の地域と比較しても圧倒的に少なく、道内で最も少ない状況です。医療の充実を図るため、今後も、地域の実情を訴え続けたい。

●道議会意見書採択
●全国知事会・市長会・町村長会
意見書提出

厚生労働省は、2019年9月26日、公的病院の「再編・統合」計画を公表。北海道は111病院中54病院が対象となり、宗谷では、猿払村国民健康保険病院、利尻島国民健康保険病院、豊富町国民健康保険病院、中頓別町国民健康保険病院が対象となっています。北海道議会、全国知事会・市長会・町村会も「地域の意向を尊重」と国へ意見書をあげています。

宗谷の関係者も、「住みよいまちをめざして」大切にしたい地域の病院」と声を寄せてくれました。

地域医療構想についての意見(抜粋)

厚生労働省は、公立・公的医療機関等について再編統合の再検討を求めるとして、全国424の具体的な病院名を公表した。

地域医療構想の推進は必要であり、各自治体立病院も一層の経営改善と機能分化を進めていかなければならないが、地域により公立・公的医療機関等の果たす役割は異なることから、全国一律の基準により分析したデータだけで再編統合を推進することは適切ではなく、地域の住民の不信を招いている。

今後、国は地方の意見を十分に踏まえ、協議を進めるべきだ。

令和元年10月4日

全国知事会 社会保障常任委員会委員長 平井 伸治
全国市長会 会長 立谷 秀清
全国町村会 副会長 椎木 巧

地域医療構想に関する意見書(抜粋)

本道においては、効率的な医療提供体制の構築を図るべく、地域の関係者が連携し、さまざまな議論を積み重ねている状況にある中、特定のデータ、全国一律の基準による分析によって、個別の医療機関に再編・統合の検討を求める方法は、地域の実情に対する配慮を欠き、地域の議論に停滞や混乱をもたらしかねない。

医療機関が再検証した内容については地域の意向として尊重し、結論を得る時期についても地域の実情を踏まえて柔軟に対応することを強く要望する。

令和元年10月4日

北海道議会議長 村田 憲 俊